

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	C++	科目コード	1420
シラバスコード	194A11-1420		
授業時数/週	4時間		
開講年次・学期	1年・通期		
必修/選択区分	選択必修		
担当教員	青山 宏和		
教員の実務経験			
職業実践専門課程 備考	連携企業等		

■科目詳細情報

授業概要	C++言語を使用して、基本的な記述とプログラミング手法を学習し、小規模なプログラムが作成できるように、実習演習を通して学ぶ。C言語プログラミング能力認定試験2級合格を目標とする。
到達目標（前期）	・C言語を使い、プログラミングの基礎知識の習得と基本的なプログラムが作成できるようになることを目標とする。 ・C言語プログラミング能力認定試験2級の合格を目標とする。
到達目標（後期）	・C言語を元にC++を学び、プログラムの作り方を実習演習を通して理解することを目標とする。 ・C++を使って、小規模なプログラムが作成できることを目標とする。
授業方法	講義により、C++の基本的な文法を学び、パソコンを用いて実習・演習を繰り返し知識を定着させる。単元の終わりには小テストを実施し、理解度を確認し、必要に応じて補講を行う。
実践的教育の内容	
評価方法（前期）	単元の終わりに実施する小テスト(筆記試験)30%、課題をパソコンで作成してファイルで提出し、出来具合に応じて評価70%にて点数化する。
評価方法（後期）	同上
授業外における学修	特になし
授業計画（前期）	第1週 パソコンでの実行操作と入出力処理、制御構造の理解 パソコンの操作方法、入出力処理、制御文を理解する。
	第2週 制御構造と配列の処理についての理解 制御文、配列処理をサンプルプログラムを通して理解する。
	第3週 ポインタの概念、使い方の理解 複数のサンプルプログラムを通して、ポインタ処理を使ったプログラムを理解する。
	第4週 関数の概念と使い方の理解 関数を使う上で必要な、引数や戻り値、値渡しやアドレス渡しを理解する。
	第5週 構造体の仕組みと使い方の理解 サンプルプログラムを使って、構造体の使い方を理解する。
	第6週 C言語プログラミング能力認定試験2級の合格に向けた問題演習 過去の類似問題を通して、演習と解説を行う。
	第7週 今までの習った内容を元にオリジナルプログラム（作品）を制作 わからないところは調べたり聞いたりしながら、小規模なプログラムを完成させる。
	第8週 今までの入出力処理部分の復習を提出課題を通して確認 入出力処理の部分の課題プログラムを作成する。
	第9週 今までの制御構造部分の復習を提出課題を通して確認 制御構造の部分の課題プログラムを作成する。
	第10週 今までの配列処理部分の復習を提出課題を通して確認 配列処理の部分の課題プログラムを作成する。
	第11週 今までのポインタ処理部分の復習を提出課題を通して確認 ポインタ処理の部分の課題プログラムを作成する。
	第12週 今までの関数処理部分の復習を提出課題を通して確認 関数処理の部分の課題プログラムを作成する。
	第13週 今までの構造体処理部分の復習を提出課題を通して確認 構造体処理の部分の課題プログラムを作成する。
	第14週 C++による入出力処理の理解 C++を用いて、入出力処理を行うプログラムが作成できるようになる。
	第15週 C++による制御構造の理解(1) C++を用いて、制御構造の分岐処理を行うプログラムが作成できるようになる。
	第16週 C++による制御構造の理解(2) C++を用いて、制御構造のくり返し処理を行うプログラムが作成できるようになる。
	第17週 C++による配列処理の理解 C++を用いて、配列処理を行うプログラムが作成できるようになる。

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	C++によるポインタ処理の理解 C++を用いて、ポインタ処理を行うプログラムが作成できるようになる。
	第19週	C++による関数の理解(1) C++を用いて、関数を行うプログラムが作成できるようになる。
	第20週	C++による関数の理解(2) C++を用いて、関数を行うプログラムの制作演習を行う。
	第21週	C++による構造体の理解(1) C++を用いて、構造体を用いたプログラムが作成できるようになる。
	第22週	C++による構造体の理解(2) C++を用いて、構造体を用いたプログラムの制作演習を行う。
	第23週	C++によるクラスの理解(1) C++を用いて、クラスを用いたプログラムが作成できるようになる。
	第24週	C++によるクラスの理解(2) C++を用いて、クラスを用いたプログラムの制作演習を行う。
	第25週	C++によるクラスの理解(3) C++を用いて、クラスを用いたプログラムの制作演習を行う。
	第26週	C++によるファイル操作の理解(1) C++を用いて、ファイルを用いたプログラムが作成できるようになる。
	第27週	C++によるファイル操作の理解(2) C++を用いて、ファイルを用いたプログラムの制作演習を行う。
	第28週	グループ制作 I (1) グループ制作課題 I の仕様や流れ、校正関数を設計する。
	第29週	グループ制作 I (2) グループ制作課題 I のユーザ関数部分を設計・作成する。
	第30週	グループ制作 I (3) グループ制作課題 I を仕様に基づき完成させる。
	第31週	グループ制作 II (1) グループ制作課題 II の仕様や流れ、校正関数を設計する。
	第32週	グループ制作 II (2) グループ制作課題 II のユーザ関数部分を設計・作成する。
	第33週	グループ制作 II (3) グループ制作課題 II を仕様に基づき完成させる。
	第34週	グループ制作 I・II のポイント解説 制作を行う上でのポイントや考え方の例を紹介し、制作物を振り返る。
教科書・教材	オリジナルテキスト、プリント資料	
参考文献・資料	特になし	
履修上の留意点	特になし	